

# 1. 大子町の概況

## (1) 位置・地勢

本町は茨城県の最北西端で、北は八溝山系を境に福島県、西は栃木県、東は茨城県常陸太田市、南は茨城県常陸大宮市にそれぞれ境を接しています。

町域は東西 19 km、南北 28 kmで、総面積は 325.76 km<sup>2</sup>と県全体の約 20 分の 1 を占めており、面積の約 8 割は、八溝山系と阿武隈山系からなる山岳地で、八溝山、男体山など県内有数の秀峰を擁しています。

この山あいから流れる中小河川は数多く、これらは源を福島県に発して町の中央部を流れる久慈川に注いでいます。この各河川に沿って、狭あいながらも耕地が開け、人家が集落を形成しています。

本町は水戸市の北約 55 km、栃木県宇都宮市の北東約 70 km、福島県郡山市の南約 80 kmの地点にあり、水戸市と郡山市は国道 118 号及び JR 水郡線で結ばれ、ほぼその中間点に位置し、宇都宮市とは国道、主要地方道などで結ばれています。



## (2) 沿革

本町は、もと陸奥国白河郡に属し「倭名類聚抄」のいわゆる白河郡 17 郷のうち八溝山東南の地でした。

明治 22 年 4 月 1 日の市町村制実施により、大子村、依上村、黒沢村、宮川村、袋田村、生瀬村、上小川村、下小川村、諸富野村が誕生し、更に明治 23 年 8 月 7 日に依上村が分村して佐原村が生まれ、その翌年の 8 月 1 日に大子村が大子町として町制を施行しました。

昭和 28 年 9 月の町村合併促進法の施行に伴い、諸富野村が昭和 30 年 2 月 12 日に那珂郡山方町と、久慈郡下小川村に分村して合併し、その後、昭和 30 年 2 月 24 日大子町と 8 か村（下小川村は那珂郡山方町と大子町に分村）が一斉に合併会議を行い、同年 3 月 31 日に大子町が発足し、現在の形となりました。

町の発展を担う交通網の形成は、昭和 2 年に水郡線常陸大子駅が開設され、翌年には全線が開通しました。また、国道 118 号バイパス等を中心にした道路網の整備が昭和 40 年代から 50 年代までに整備されています。

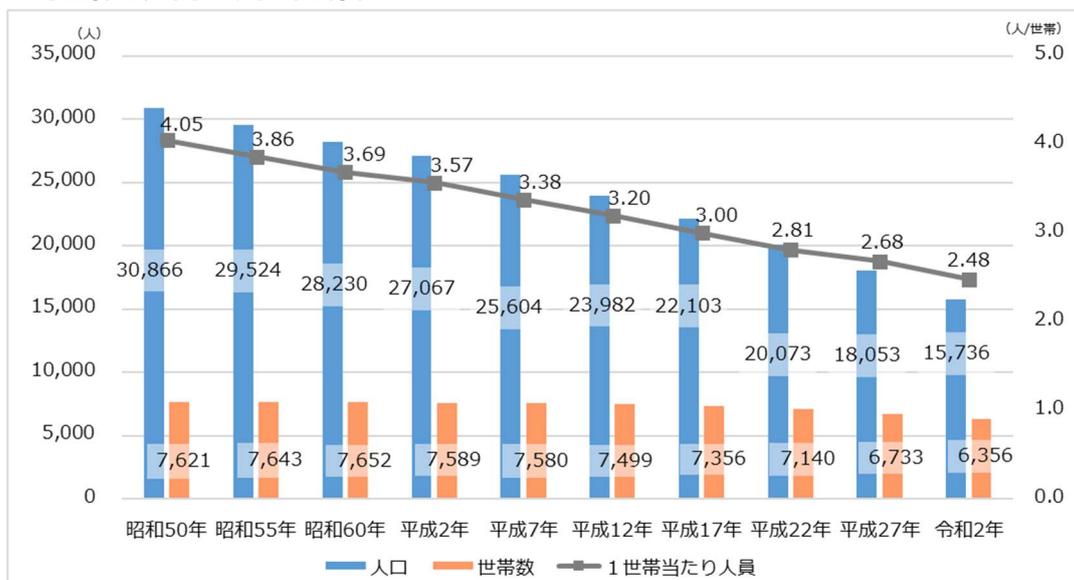
### (3) 人口・世帯数

#### ①人口・世帯数の推移

本町の人口は減少傾向が続いており、令和2年には昭和50年の約半分である15,736人にまで減少しています。

世帯数も同様に緩やかな減少が続いており、令和2年には6,356世帯となっています。1世帯当たり人員についても減少傾向が続き、令和2年には2.48人/世帯となっています。

#### ■町全体の人口及び世帯動向

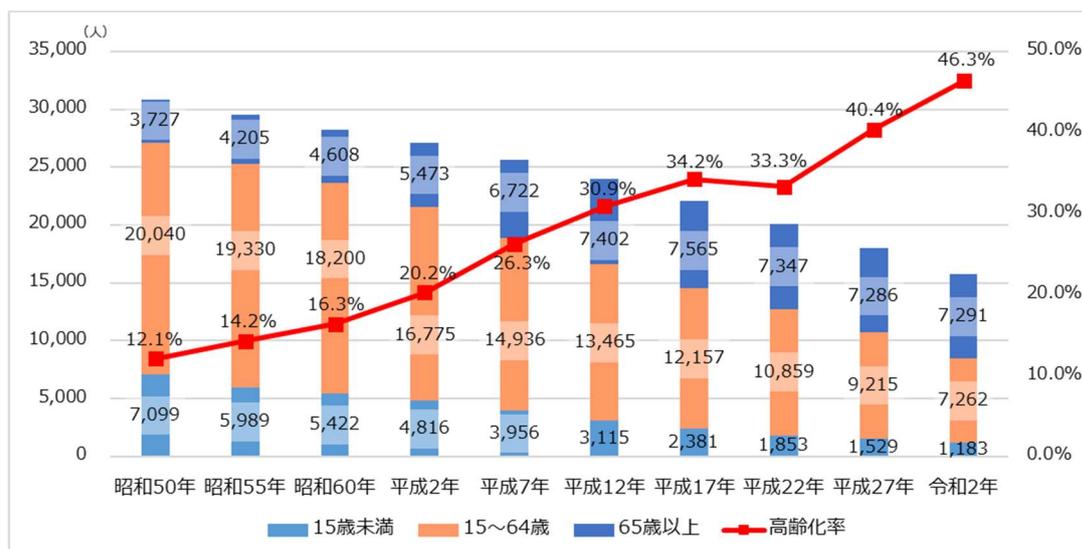


出典：国勢調査

#### ②年齢別人口の推移

年齢別に人口の推移をみると、15歳未満及び15～64歳人口が著しく減少する一方で、65歳以上人口が増加しており、令和2年における高齢化率は46.3%となっています。

#### ■年齢別人口の推移



出典：国勢調査

### ③ 転入・転出

本町の令和5年における転入・転出の状況は、転入者数が242人、転出者数が353人となっており、転出超過となっています。

県内における転入の状況は水戸市が最も多くなっており、転出の状況は常陸大宮市が最も多くなっています。また、県北・県央地域の市町村との移動が多くなっています。

県外における転入の状況は国外が最も多くなっており、転出の状況は千葉県が最も多くなっています。また、東京都や近隣の埼玉県や千葉県、神奈川県、大子町と隣接する福島県や栃木県との移動が多くなっています。

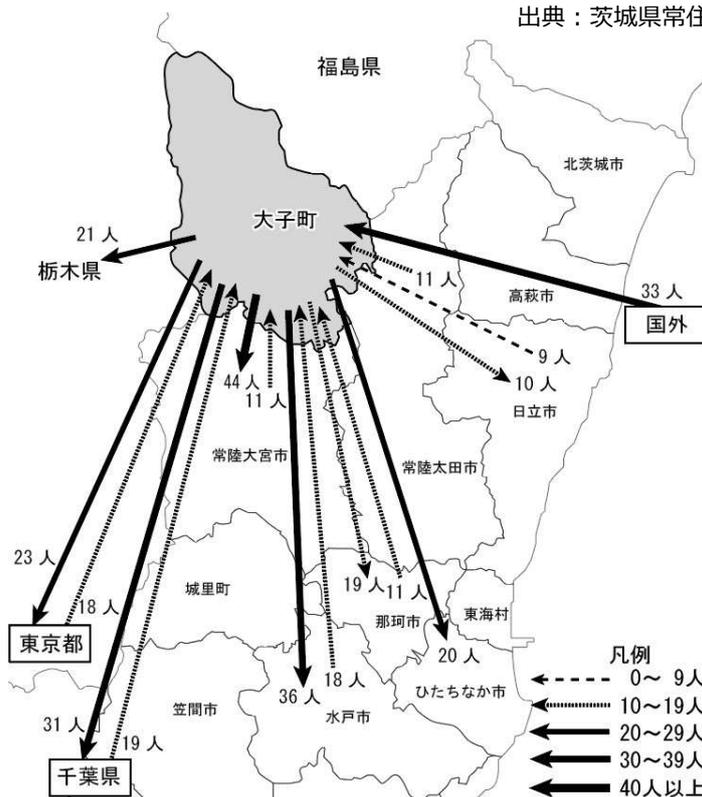
#### ■ 転入の動向（上位5市町村・都県）

県内からの転入者数	実数（人）	割合（%）
水戸市	18	7.4%
常陸太田市	11	4.5%
常陸大宮市	11	4.5%
那珂市	11	4.5%
日立市	9	3.7%
合計(県内)	101	41.7%
県外からの転入者数	実数（人）	割合（%）
国外	33	13.6%
千葉県	19	7.9%
東京都	18	7.4%
福島県	12	5.0%
栃木県	12	5.0%
合計(県外)	141	58.3%
合 計(県内+県外)	242	100.0%

#### ■ 転出の動向（上位5市町村・都県）

県内への転出者数	実数（人）	割合（%）
常陸大宮市	44	12.5%
水戸市	36	10.2%
ひたちなか市	20	5.7%
那珂市	19	5.4%
日立市	10	2.8%
合計(県内)	191	54.1%
県外への転出者数	実数（人）	割合（%）
千葉県	31	8.8%
東京都	23	6.5%
栃木県	21	5.9%
埼玉県	18	5.1%
神奈川県	17	4.8%
合計(県外)	162	45.9%
合 計(県内+県外)	353	100.0%

出典：茨城県常住人口調査（令和5年）



※県内は本町へ転入・転出の上位5市町村、県外は上位3都県を図示

④通勤・通学

本町の令和 2 年における通勤・通学の状況は、通勤による流出者数が 1,916 人、流入者数が 1,254 人であり、流出超過となっています。また、通学による流出者数が 238 人、流入者数が 90 人であり、流出超過となっています。

県内における通勤の状況は、流入・流出者数共に常陸大宮市が最も多く、次いで、隣接する常陸太田市や県北・県央地域の市町村が多くなっています。県外における通勤の状況は、流入・流出者共に隣接する県との移動が多くなっており、最も多いのが福島県、次いで栃木県となっています。

県内における通学の状況は、流入者数は常陸大宮市が最も多く、流出者数は水戸市が最も多くなっており、次いで、流入・流出共に県北・県央地域の市町村が多くなっています。県外における通学の状況は、隣接する福島県や栃木県との移動が多くなっているほか、東京都やその周辺の県との移動が見られます。

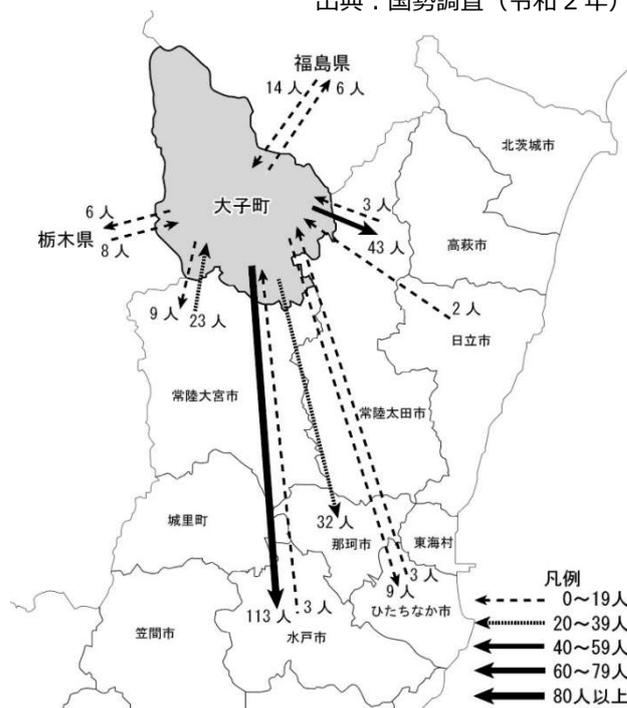
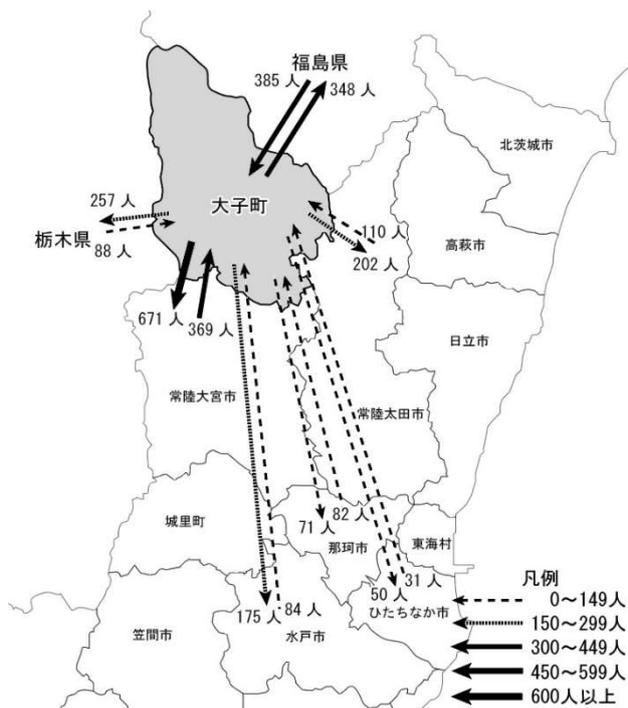
■通勤の動向（上位 5 市町村・都県）

県内からの流入者数	実数（人）	県内への流出者数	実数（人）
常陸大宮市	369	常陸大宮市	671
常陸太田市	110	常陸太田市	202
水戸市	84	水戸市	175
那珂市	82	那珂市	71
ひたちなか市	31	ひたちなか市	50
合計(県内)	755	合計(県内)	1,298
県外からの流入者数	実数（人）	県外への流出者数	実数（人）
福島県	385	福島県	348
栃木県	88	栃木県	257
神奈川県	8	千葉県	4
千葉県	5	東京都	4
東京都	5	埼玉県	2
合計(県外)	499	合計(県外)	618
合計(県内+県外)	1,254	合計(県内+県外)	1,916

■通学の動向（上位 5 市町村・都県）

県内からの流入者数	実数（人）	県内への流出者数	実数（人）
常陸大宮市	23	水戸市	113
水戸市	3	常陸太田市	43
常陸太田市	3	那珂市	32
ひたちなか市	3	ひたちなか市	9
日立市	2	常陸大宮市	9
合計(県内)	42	合計(県内)	216
県外からの流入者数	実数（人）	県外への流出者数	実数（人）
福島県	14	福島県	6
栃木県	8	栃木県	6
埼玉県	8	東京都	4
千葉県	4	宮城県	2
神奈川県	4	千葉県	2
合計(県外)	48	合計(県外)	22
合計(県内+県外)	90	合計(県内+県外)	238

出典：国勢調査（令和 2 年）



※県内は本町へ流入・流出の上位 5 市町村、県外は上位 2 県を图示

## (4) 産業

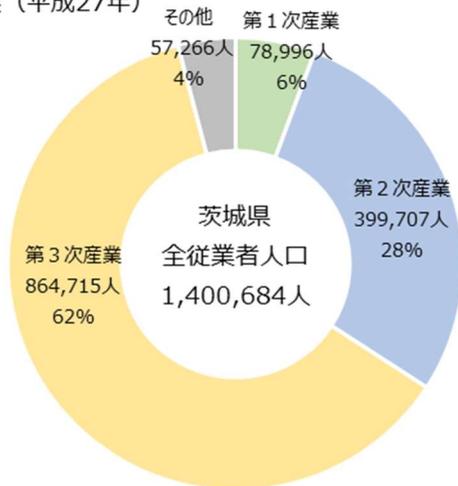
### ① 産業構造

令和 2 年国勢調査によると、本町の就業人口は 7,707 人です。内訳は、第 1 次産業が 1,113 人（14.4%）、第 2 次産業が 2,306 人（29.9%）、第 3 次産業が 4,220 人（54.8%）となっています。茨城県と比較すると、本町は第 1 次産業の占める割合が大きい点が特徴です。

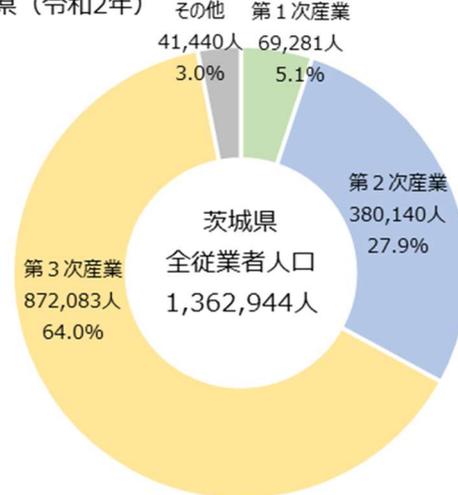
また、平成 27 年の本町の就業人口と比較すると、全就業人口が 1,000 人以上減少しています。

### ■ 産業分類別就業人口・構成比

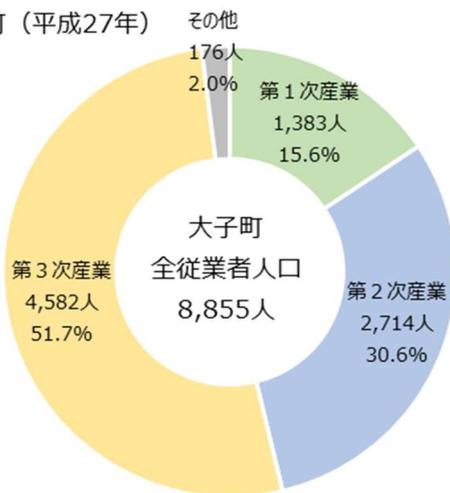
茨城県（平成27年）



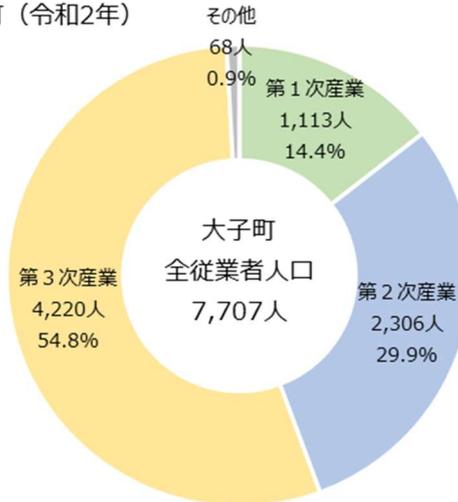
茨城県（令和2年）



大子町（平成27年）



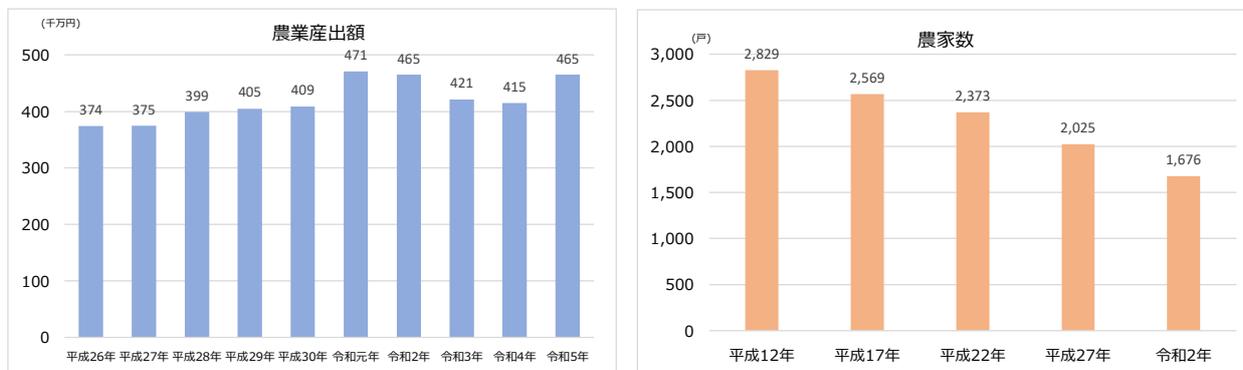
大子町（令和2年）



出典：国勢調査（平成 27 年、令和 2 年）

## ②農業

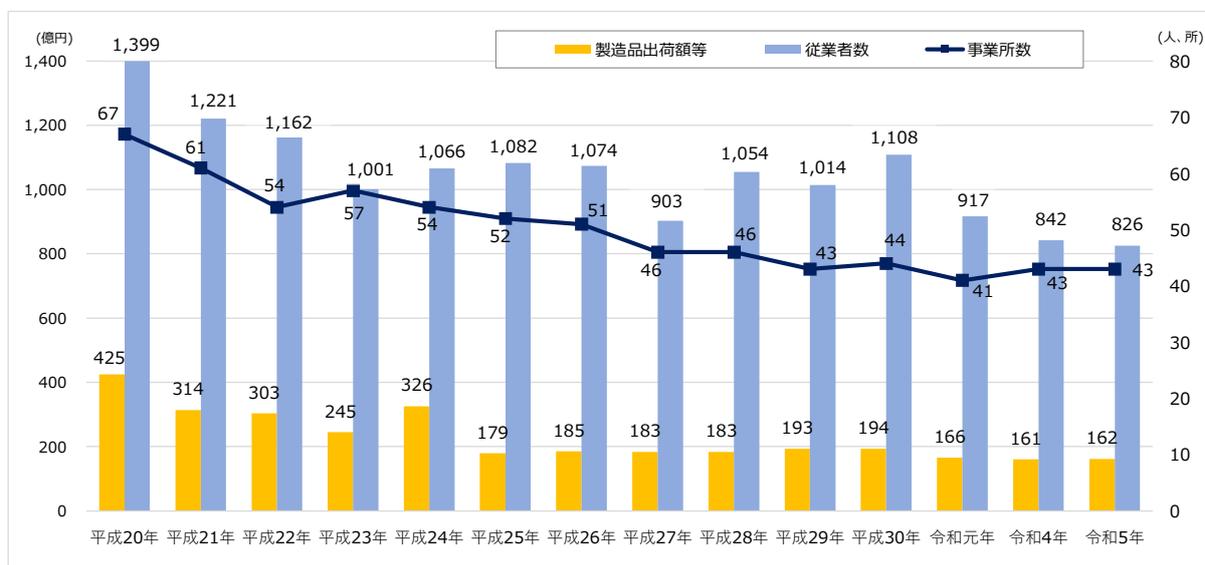
本町の農業産出額は、令和元年以降減少傾向にありましたが、令和5年は増加に転じた結果、平成26年と比較すると約9億円の増加となっています。一方、農家数は年々減少しており、平成12年と比較して、令和2年は1,000戸以上減少しています。



出典：農林水産省 市町村別農業産出額（推計）（平成26年～令和5年）、  
農林業センサス（平成12年～令和2年）

## ③工業

本町の製造品出荷額は、平成20年以降減少傾向にあり、近年はより顕著になっています。従業者数や事業所数も同様に減少傾向にありますが、近年の事業所数はほぼ横ばいで推移しています。



出典：工業統計調査（平成20年～令和元年）、経済構造実態調査（令和4、5年）

④商業

本町の年間販売額、商店数（事業所数）及び従業者数のいずれも減少傾向にあり、平成 3 年に 617 所あった商店数（事業所数）は令和 3 年には 241 所にまで減少しています。



出典：商業統計調査（平成 3 年～平成 26 年）、経済センサス（平成 28 年、令和 3 年）

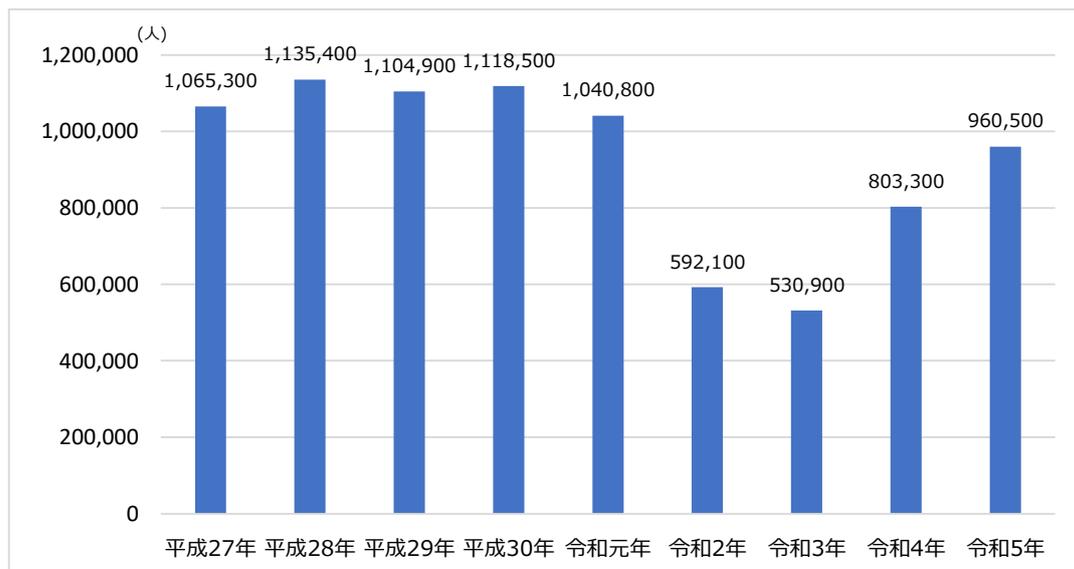
※調査の改定、変更により平成 19 年と平成 26 年の値（推移）は直接的に連動していない

## ⑤観光

本町には袋田の滝や温泉といった自然を生かした観光施設や、りんごや奥久慈しゃもといった特産品など、多くの観光資源を有しています。

本町の観光客数を見ると、令和元年頃までは年間110万人程度で推移していましたが、コロナ禍等の影響を受け、令和2年から令和3年には約半数にまで減少しました。しかし、近年は回復傾向に転じており、令和5年には年間96万人となっています。

### ■観光入込客数<sup>※1</sup>の推移（大子町）



出典：茨城県観光客動態調査（平成27年～令和5年）

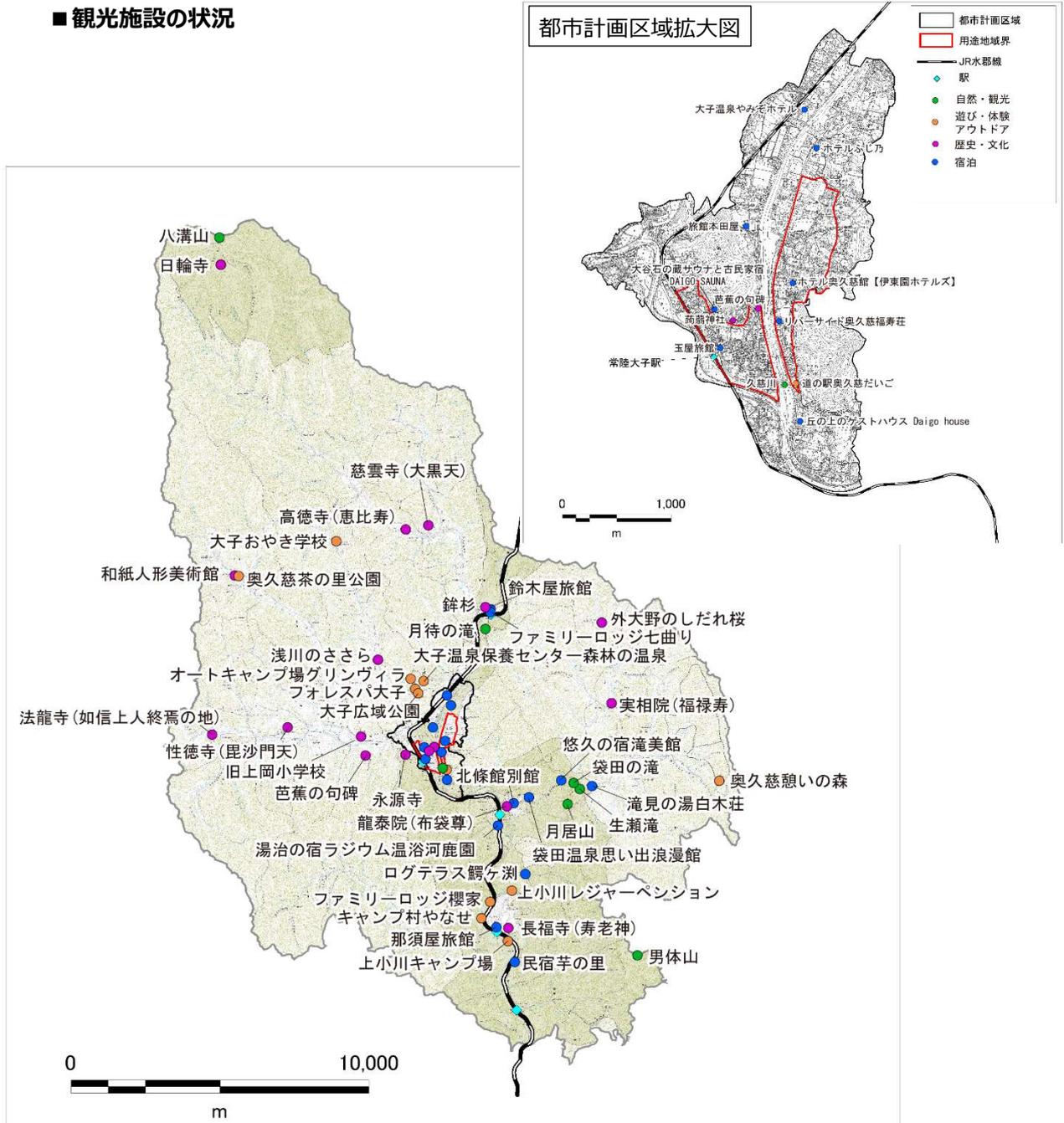
#### ※1 【観光入込客】

日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者のことです。

#### ※1 【観光入込客数】

都道府県の観光地点を訪れた観光入込客をカウントした値で、例えば1人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点を訪れたとしても1人・回と数えます。

## ■ 観光施設の状況

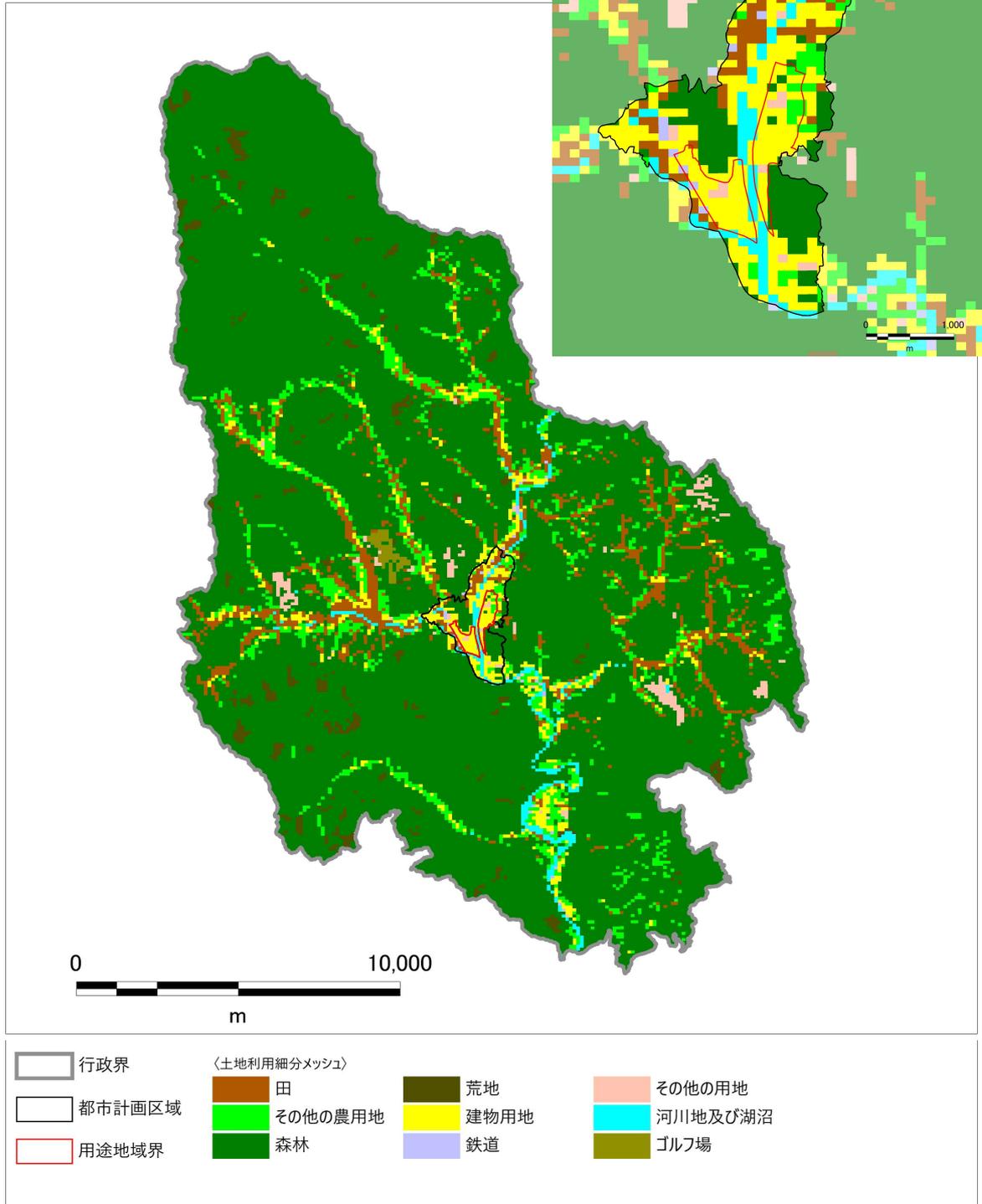


出典：大子町観光協会 HP 及び町資料（令和7年4月時点）

## (5) 土地利用

土地利用を見ると、町域の大部分が森林となっています。河川沿いに市街地が形成され、その周辺に農用地や田が広がっています。

### ■ 土地利用細分メッシュ (町全体)



出典：国土数値情報 土地利用細分メッシュ (令和3年) を基に作成

## (6) 道路・交通

### ①一般道路

本町の主要な道路網としては、国道が2路線あります。国道118号が南北に縦断、国道461号が東西に横断しており、周辺の都市と結ばれています。

そのほか、主要地方道が5路線、一般県道が12路線あります。

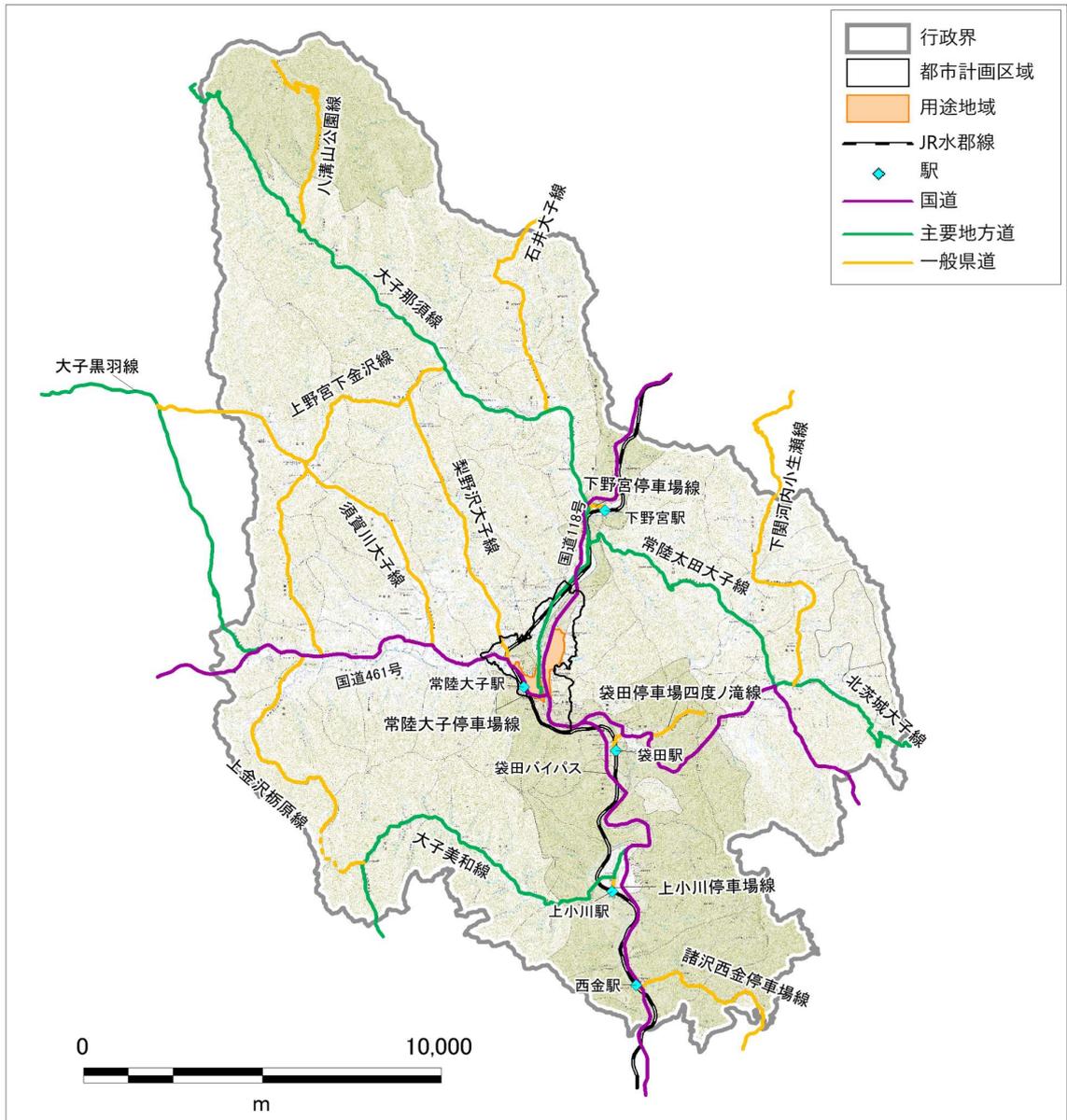
### ■一般道路の状況

種別	道路名称	総延長	重用延長※	実延長の内訳					
				実延長 (m)	改良済延長 (m)	改良率 (%)	舗装済延長 (m)	舗装率 (%)	
一般国道	国道118号	26,194	670	25,524	24,234	94.95	25,524	100.00	
	国道461号	24,076	3,388	20,688	20,436	98.78	20,688	100.00	
	計	50,270	4,058	46,212	44,670	96.66	46,212	100.00	
県道	主要地方道	大子黒羽線	1,273	0	1,273	1,273	100.00	1,273	100.00
		北茨城大子線	5,215	0	5,215	5,215	100.00	5,215	100.00
		大子那須線	24,698	0	24,698	16,496	66.79	24,441	98.96
		大子美和線	12,015	0	12,015	7,958	66.23	12,015	100.00
		常陸太田大子線	11,882	3,542	8,340	7,480	89.69	8,340	100.00
		計	55,083	3,542	51,541	38,422	74.55	51,284	99.50
	一般県道	上金沢栃原線	9,887	0	9,887	5,557	56.21	6,705	67.82
		上野宮下金沢線	12,391	0	12,391	10,821	87.33	12,379	99.90
		梨野沢大子線	9,076	597	8,479	8,272	97.56	8,479	100.00
		下関河内小生瀬線	7,296	0	7,296	7,255	99.44	7,296	100.00
		石井大子線	6,443	0	6,443	3,950	61.31	6,443	100.00
		須賀川大子線	10,018	236	9,782	9,446	96.57	9,782	100.00
		八溝山公園線	7,585	0	7,585	6,777	89.35	7,585	100.00
		諸沢西金停車場線	5,001	19	4,982	3,169	63.61	4,982	100.00
		上小川停車場線	381	0	381	105	27.56	381	100.00
		袋田停車場四度ノ滝線	2,887	795	2,092	1,048	50.10	2,092	100.00
		常陸大子停車場線	569	569	0	0	0.00	0	0.00
		下野宮停車場線	547	0	547	0	0.00	547	100.00
		計	72,081	2,216	69,865	56,400	80.73	66,671	95.43
		総計		177,434	9,816	167,618	139,492	83.22	164,167

出典：茨城県道路現況調査（令和5年3月）

※重用延長：他路線と重複する区間分の延長

■ 道路網（国県道）



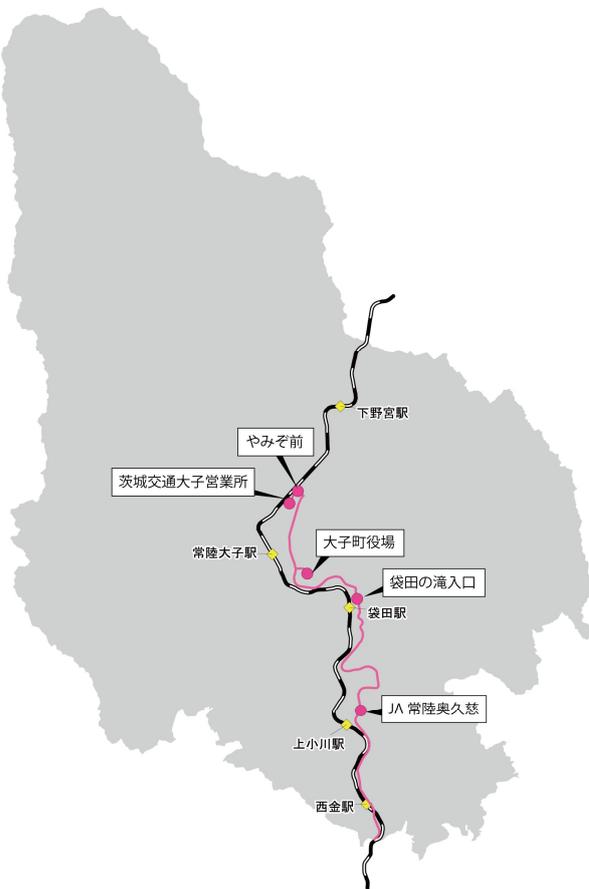
## ②公共交通

本町の公共交通としては、町の中央を JR 水郡線が縦断しており、水戸と郡山を結んでいます。町内には西金駅、上小川駅、袋田駅、常陸大子駅、下野宮駅の 5 つの駅があります。

また、茨城交通による路線バスが運行されているほか、町民無料バス「みどり号」、東京駅間の高速バスが運行されています。

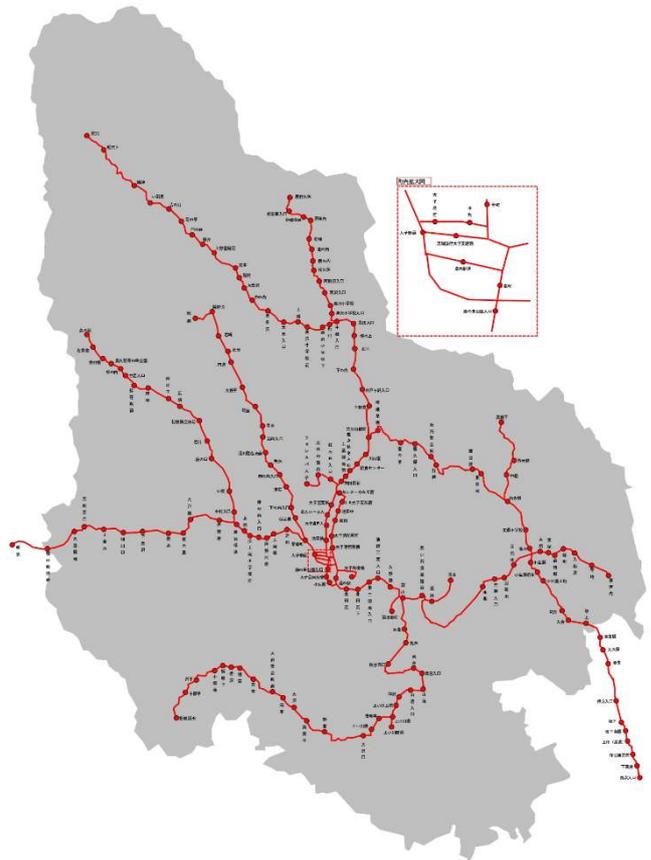
さらに、持続可能な公共交通体系の再構築に係る新たな移動手段として、AI 乗合タクシー及びカーシェアリングが令和 2 年 10 月 1 日から令和 3 年 9 月 30 日までの実証実験を経て、令和 3 年 10 月 1 日から本格稼働しています。

### ■ JR 水郡線・茨城交通高速バス路線概要図



出典：茨城交通ホームページを基に作成（令和 6 年 7 月時点）

### ■ 路線バス路線概要図



出典：大子町ホームページ（令和 6 年 7 月時点）



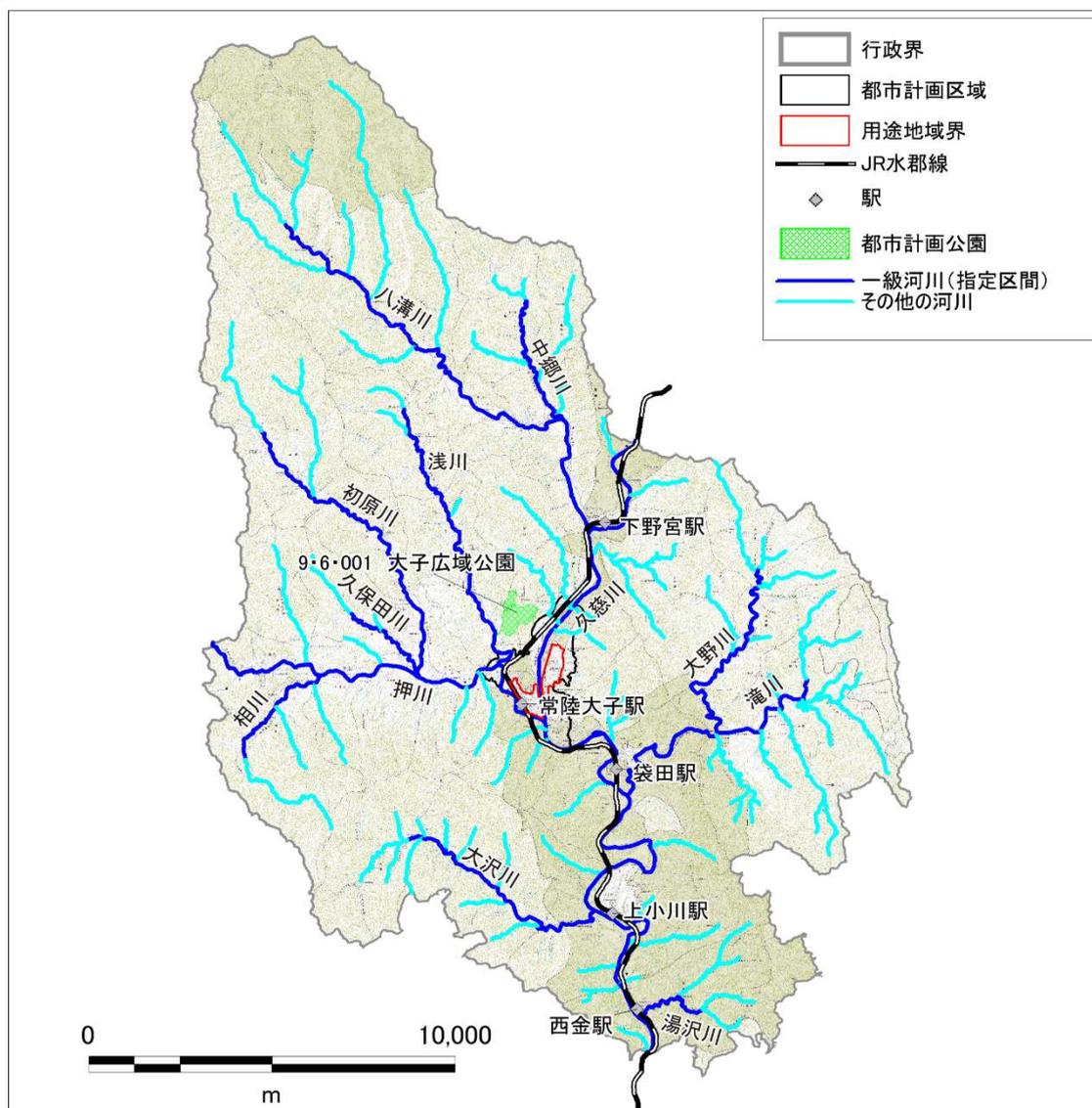
## (7) 公園

本町には、都市計画決定（都市計画公園<sup>※1</sup>）されており、かつ都市公園法に基づく公園（都市公園）である大子広域公園が位置しています。

## (8) 河川・湖沼

本町には、町の中央部を縦断する久慈川や、町の西側から久慈川に注ぐ押川などの一級河川が 12 河川あります。

### ■公園・河川の状況



出典：都市計画基礎調査（平成 29 年）、国土数値情報 河川（平成 20 年）

※1 【都市計画公園】

都市計画法第 11 条第 1 項第 2 号で定められる施設です。

## (9) 公共公益施設

町内では、都市計画区域内に町役場や中央公民館、学校等の公共施設に加え、医療施設、高齢者福祉施設、商業施設といった公共公益施設が集積しています。また、都市計画区域外においては、集会所や駐在所、学校、高齢者福祉施設等が点在しています。

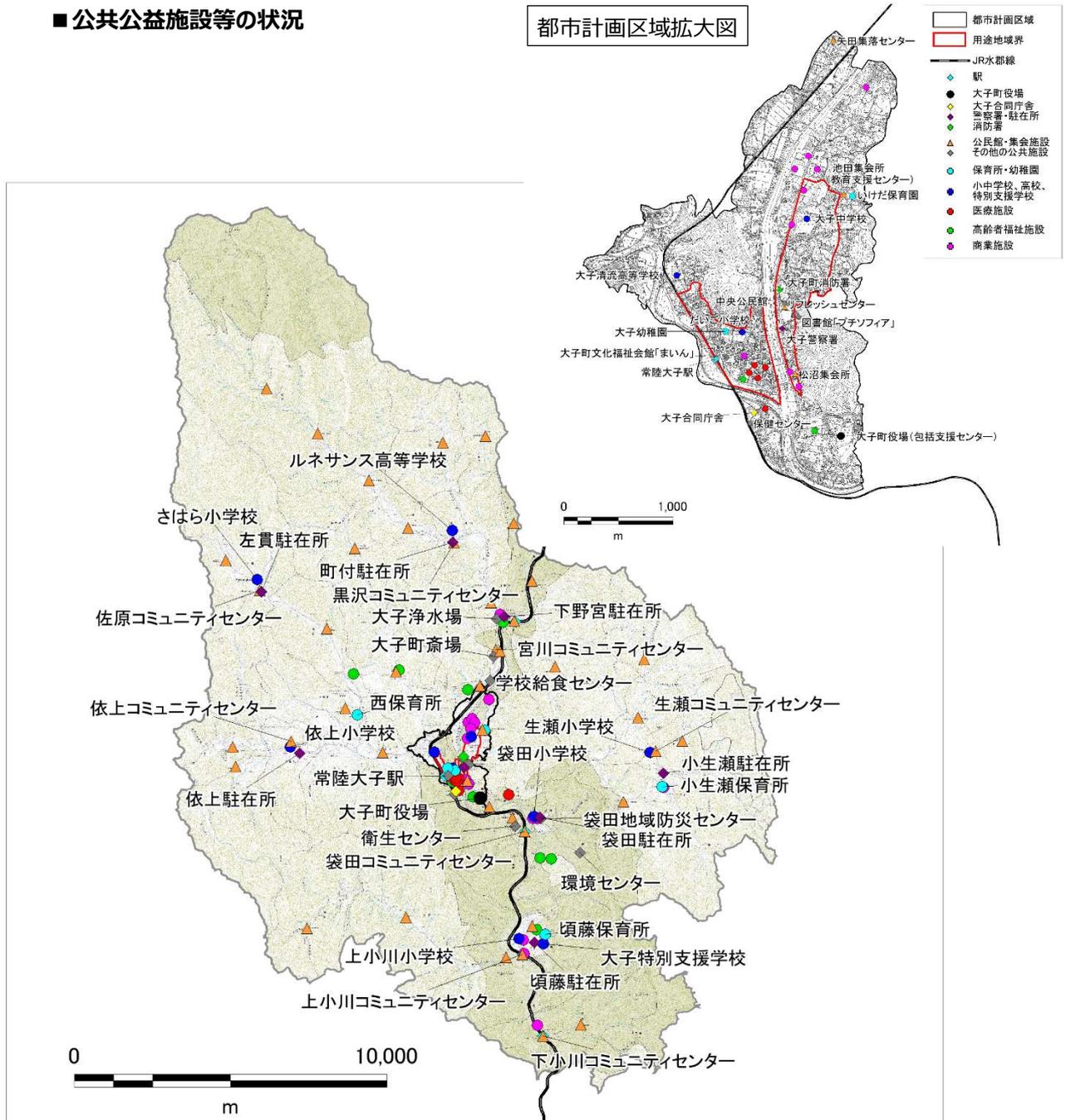
そのほか、町内には中学校が4校ありましたが、令和7年4月1日に、大子西中学校、南中学校、生瀬中学校が大子中学校へ統合されたことにより、町内の中学校は1校となりました。

### ■ 公共施設の状況

名称	所在地	名称	所在地
大子町役場（包括支援センター）	北田気	上野宮第二集会所	上野宮
大子合同庁舎	大子	北吉沢集会所	北吉沢
大子警察署	池田	上金沢集会所	上金沢
大子警察署依上駐在所	下金沢	相川集会所	相川
大子警察署下野宮駐在所	下野宮	芦野倉集会所	芦野倉
大子警察署頃藤駐在所	頃藤	初原集会所	初原
大子警察署左貴駐在所	左貴	左貴本郷田園都市センター	左貴
大子警察署小生瀬駐在所	小生瀬	榎野地生活改善センター	榎野地
大子警察署袋田駐在所	袋田	小生瀬下区集会所	小生瀬
大子警察署町付駐在所	町付	高柴集会所	高柴
大子町消防署	池田	内大野集会所	内大野
中央公民館（リフレッシュセンター）	池田	外大野集会所	外大野
大子町文化福祉会館「まいん」	大子	大生瀬坂西集会所	大生瀬
宮川コミュニティセンター	川山	仲沢集会所	頃藤
袋田コミュニティセンター	袋田	頃藤西一集会所	頃藤
袋田地域防災センター	袋田	大沢集会所	大沢
黒沢コミュニティセンター	町付	栃原集会所	栃原
依上コミュニティセンター	下金沢	湯沢集会所	西金
佐原コミュニティセンター	左貴	保健センター	大子
生瀬コミュニティセンター	高柴	衛生センター	南田気
上小川コミュニティセンター	頃藤	環境センター	袋田
下小川コミュニティセンター	西金	図書館「プチ・ソフィア」	池田
浅川集会所	浅川	学校給食センター	川山
上岡集会所	上岡	大子浄水場	下野宮
山田集会所	山田	大子町斎場	川山
高田集会所	高田	依上小学	下金沢
下野宮集会所	下野宮	袋田小学校	袋田
下野宮郷集会所	下野宮	上小川小学校	頃藤
下野宮東区集会所	下野宮	生瀬小学校	高柴
川山集会所	川山	さほら小学校	左貴
矢田集落センター	矢田	だいご小学校	大子
南田気集会所	南田気	大子中学校	池田
北田気集会所	北田気	大子清流高等学校	大子
池田集会所（教育支援センター）	池田	大子特別支援学校	頃藤
松沼集会所	池田	大子幼稚園	大子
上郷生活改善センター	上郷	頃藤保育所	頃藤
中郷集会所	中郷	小生瀬保育所	小生瀬
上野宮下組集会所	上野宮	西保育所	芦野倉
上野宮第一集会所	上野宮		

出典：国土数値情報 公共施設（平成18年）・市町村役場及び公的集会所施設（令和4年）、大子町公共施設等総合管理計画（令和4年3月）、大子町HP（令和6年7月時点）、茨城県警察HP（令和6年7月時点）、各学校HP（令和6年7月時点）を基に作成

## ■ 公共公益施設等の状況



出典：国土数値情報 公共施設（平成 18 年）・市町村役場及び公的集会所（令和 4 年）・医療機関（令和 2 年）・福祉施設（令和 3 年）、大子町公共施設等総合管理計画（令和 4 年 3 月）、大子町 HP（令和 6 年 7 月時点）、茨城県警察 HP（令和 6 年 7 月時点）、各学校 HP（令和 6 年 7 月時点）、介護サービス情報提供システム（令和 6 年 7 月時点）、i タウンページ（令和 6 年 7 月時点）、町資料（令和 7 年 4 月）を基に作成

## (10) 文化財

本町の文化財は、国指定文化財が 1 件、国登録文化財が 23 件、県指定文化財が 6 件、町指定文化財が 23 件あります。また、県内各地における国選択文化財が 6 件ありますが、本町に関連するものとして、「お枅廻しの習俗」があります。

### ■文化財の状況

名称	区分	種別	所在地
お枅廻しの習俗	国選択	無形民俗文化財	下野宮、大生瀬
旧黒沢中学校	国登録有形	歴史的建造物	上郷 2 6 0 4 ほか
旧樋口病院入院棟	国登録有形	歴史的建造物	大子 7 0 5
大子カフェ店舗兼主屋	国登録有形	歴史的建造物	大子 6 8 9
大子カフェ土蔵	国登録有形	歴史的建造物	大子 6 8 7 - 2
旧上岡小学校	国登録有形	歴史的建造物	上岡 9 5 7 - 3
旧初原小学校	国登録有形	歴史的建造物	初原 9 6 0
旧西金小学校	国登録有形	歴史的建造物	西金 2 5 0
旧浅川小学校	国登録有形	歴史的建造物	浅川 1 2 5 3
旧槇野地小学校	国登録有形	歴史的建造物	槇野地 2 4 6 9
旧外池呉服店店舗（器而庵）	国登録有形	歴史的建造物	大子 6 2 4
旧大子銀行本店（まちかど美術館）	国登録有形	歴史的建造物	大子 6 4 2 - 2
常陸大子のコンニャク栽培用具及び加工用具	国登録	有形民俗文化財	川山 9 7 9 - 1（宮川コミュニティセンター）
袋田の滝及び生瀬滝	国指定	名勝	袋田字日向山・字大北
浅川獅子頭	県指定	彫刻	浅川 3 9 0 3（熊野神社）
浅川のささら	県指定	無形民俗文化財	浅川 3 9 0 3（熊野神社）
袋田瀧	県指定	名勝	袋田字滝本ほか
銚スギ	県指定	天然記念物	下野宮 1 6 2 6（近津神社）
文武館跡のケヤキ	県指定	天然記念物	大子 5 5 4（だいで小学校）
外大野のシダレザクラ	県指定	天然記念物	外大野 1 3 1 2
大子那須楮（だいでなすこうぞ）	町指定	無形文化財	－
大子漆（だいでうるし）	町指定	無形文化財	－
高德寺山門	町指定	建造物	上郷 2 0 5 6（高德寺）
大雲寺観音堂	町指定	建造物	中郷 1 2 7 4
涅槃図	町指定	絵画	上郷 2 0 5 6（高德寺）
木造阿弥陀如来坐像	町指定	彫刻	浅川 2 7 5 7（安楽院常照寺 廃寺）
木造聖徳太子立像	町指定	彫刻	上金沢 1 6 8 4 - 3（法龍寺）
塑造如信上人坐像	町指定	彫刻	上金沢 1 6 8 4 - 3（法龍寺）
木造観音菩薩坐像	町指定	彫刻	下金沢 2 9 2（性徳寺）
仲山古墳群 3 号墳出土遺物	町指定	考古資料	池田 2 6 6 9（大子町立中央公民館）
道祖神碑	町指定	有形民俗文化財	栃原 2 5
庚申供養塔	町指定	有形民俗文化財	池田 1 6 4 3
文武館文庫	町指定	史跡	大子 5 5 8 ほか（だいで小学校）
鏡城址	町指定	史跡	池田 1 0 6 9 - 1
上岡古墳群	町指定	史跡	上岡 1 1 2 6、1 1 2 9
如信上人終焉の地	町指定	史跡	上金沢 1 6 8 4 - 3（法龍寺）
文武館跡のけやき群	町指定	天然記念物	大子 5 5 4 ほか
だき灯籠の杉	町指定	天然記念物	初原 3 2 9（鹿島神社）
ヒメザセンソウの群落	町指定	天然記念物	南田気 2（王子神社）
サクラソウの群落	町指定	天然記念物	初原 2 2 9 4 - 1 ほか
法龍寺のかや	町指定	天然記念物	上金沢 1 6 8 4 - 3（法龍寺）
小生瀬地蔵桜	町指定	天然記念物	小生瀬 3 8 2 7 - 1
近津神社の中田植	町指定	無形民俗文化財	下野宮 1 6 2 6（近津神社）

出典：大子町文化遺産 HP（令和 6 年 7 月時点）及び町資料（令和 7 年 4 月時点）  
 ※旧上岡、初原、西金、浅川小学校と旧黒沢中学校は、複数の文化財が個別に指定されているが、表中ではまとめて記載しているため、本文中の文化財の件数とは一致しない

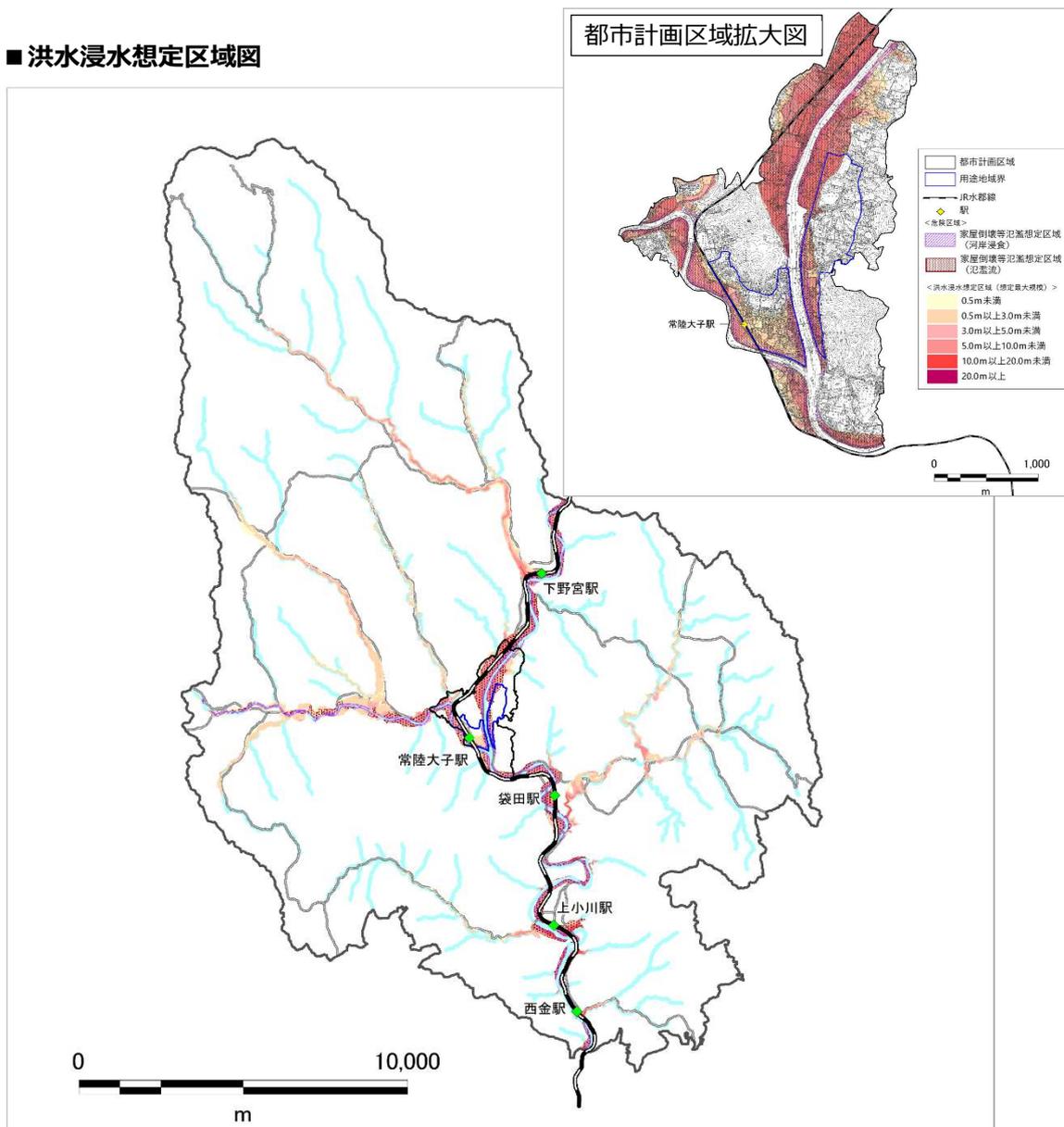


## (11) 防災

### ① 洪水浸水指定区域の指定状況

久慈川水系の久慈川と押川に洪水浸水想定区域<sup>※1</sup>が指定されています。久慈川と押川に挟まれた常陸大子駅周辺の市街地の大部分において 3.0m未滿の浸水が想定されています。また、久慈川沿いの大部分や JR 水郡線の線路より西側の部分では、家屋倒壊等氾濫想定区域<sup>※2</sup>が指定されています。

#### ■ 洪水浸水想定区域図



出典：茨城県常陸大宮土木事務所資料を基に作成

#### ※1 【洪水浸水想定区域】

水防法第 14 条第 1 項の規定により、対象とする河川が想定最大規模降雨によって破堤又は溢水した場合に、その氾濫水により浸水することが想定される区域のことです。

#### ※2 【家屋倒壊等氾濫想定区域】

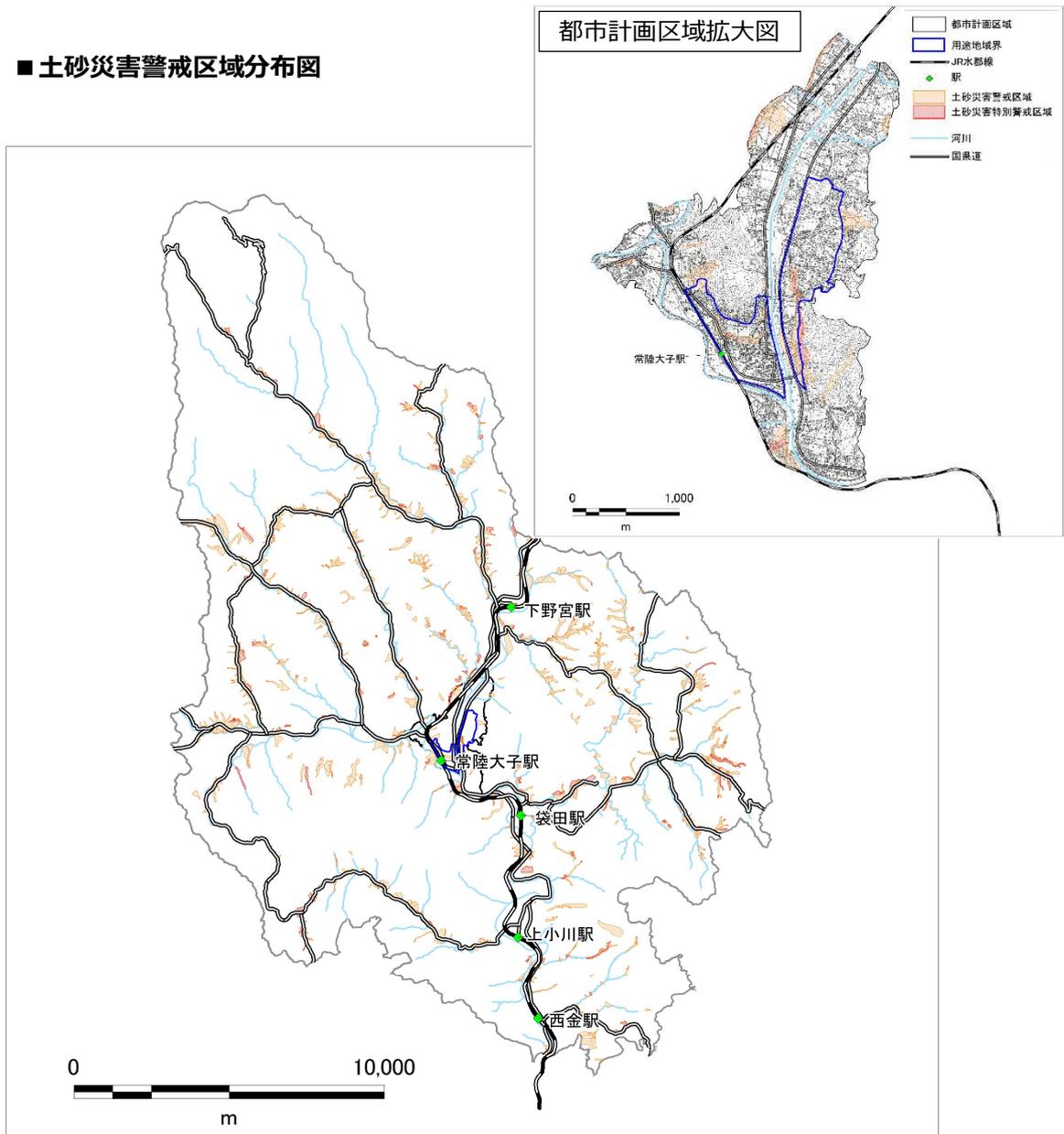
洪水時に家屋の流出・倒壊をもたらすような氾濫が発生するおそれがある範囲を指します。

- 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）：家屋の流失・倒壊をもたらすような洪水の氾濫流が発生するおそれがある範囲
- 家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）：家屋の流失・倒壊をもたらすような洪水時の河岸浸食が発生するおそれがある範囲

②土砂災害警戒区域の指定状況

土砂災害警戒区域は、河川沿いの傾斜地を中心に町内に広く分布しています。都市計画区域内においては、常陸大子駅北部の傾斜地や国道 118 号から東側の傾斜地に土砂災害警戒区域<sup>※1</sup> 及び土砂災害特別警戒区域<sup>※2</sup> が指定されています。

■土砂災害警戒区域分布図



出典：国土数値情報 土砂災害警戒区域（令和 5 年）を基に作成

※1 【土砂災害警戒区域（イエローゾーン）】

土砂災害が発生した場合、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域で、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

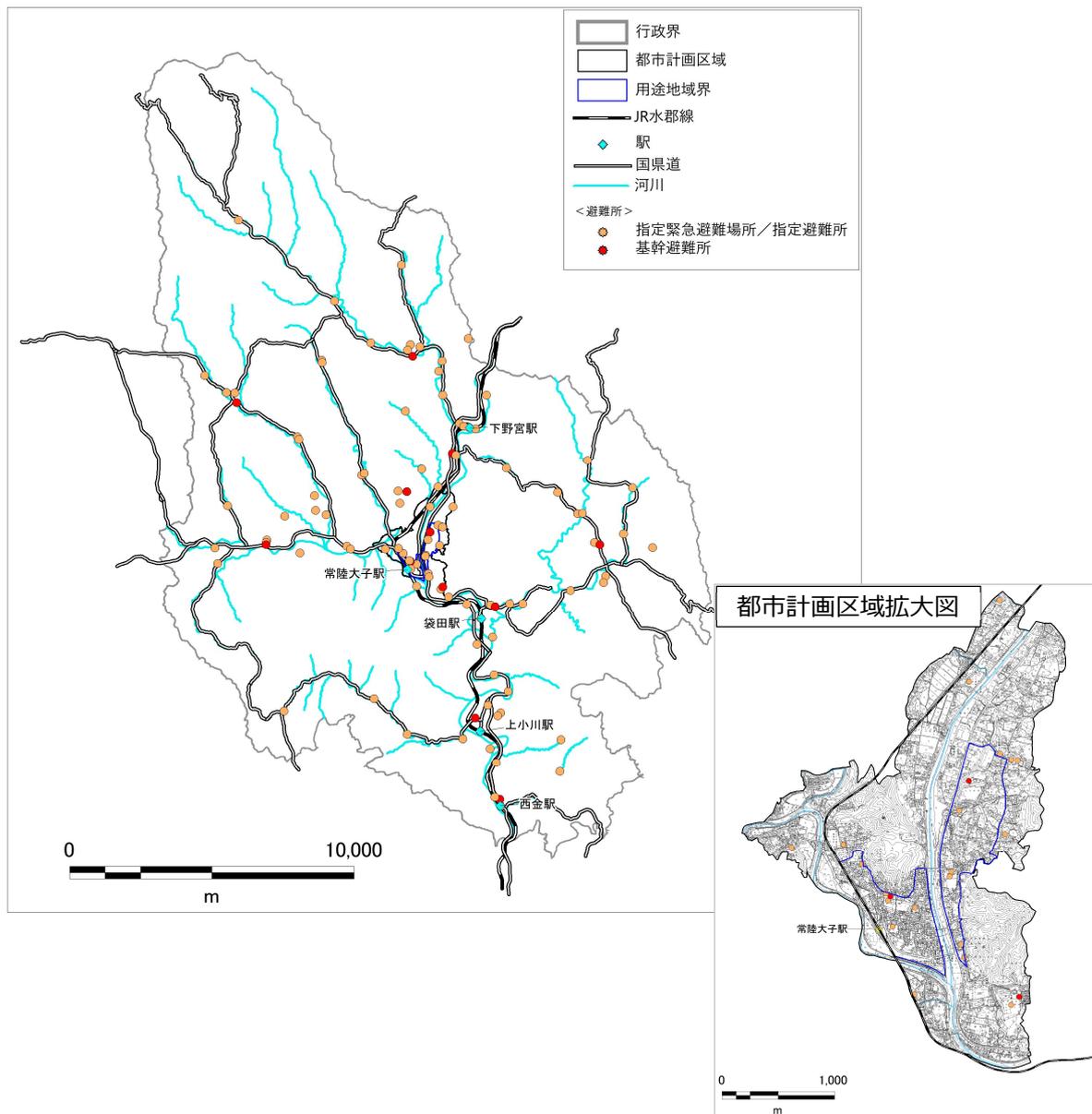
※2 【土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）】

土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制などが行われます。

### ③避難場所・避難所の状況

本町には、指定緊急避難場所<sup>※1</sup>が110か所、民間協力による指定緊急避難場所が1か所、指定避難所<sup>※2</sup>が29か所あります。29か所の指定避難所のうち12か所を基幹避難所として位置付け、地域の災害対応拠点として、災害時の町職員の常駐及び計画的な物資の備蓄を行うものとしています。

#### ■避難所分布図



出典：大子町地域防災計画 資料編（令和2年）を基に作成

#### ※1【指定緊急避難場所】

指定緊急避難場所とは、洪水、土砂災害等による危険が切迫した状況において、住民等が緊急に避難する際の避難先として位置付けるものであり、住民等の生命の安全確保を目的とした施設です。

#### ※2【指定避難所】

指定避難所とは、災害の危険性があり避難した住民等を災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在させ、又は災害により家に戻れなくなった住民等を一時的に滞在させることを目的とした施設です。

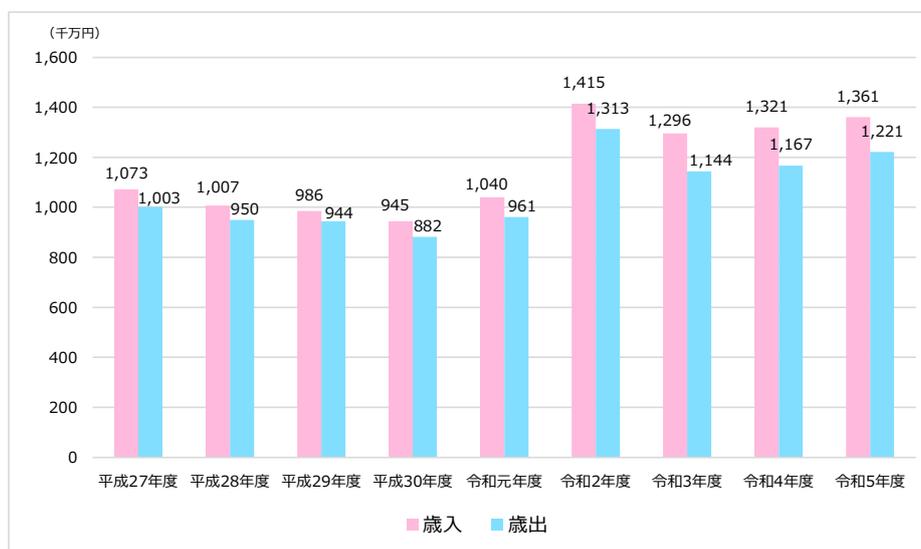
## (12) 行財政

一般会計の歳入・歳出の推移をみると、平成 30 年度までは歳入、歳出ともに減少が続いていましたが、令和 2 年度に大きく増加し、令和 5 年度は歳入が 136 億円、歳出が 122 億円となっています。

全体予算に占める義務的経費・投資的経費の割合をみると、人件費、扶養費、公債費からなる義務的経費は令和 2 年度には大きく低下しましたが、その後やや増加し、令和 5 年度には 36.9%となっています。また、普通建設事業費、災害復旧事業費、失業対策事業費からなる投資的経費は、令和元年度までは低下が続いていましたが、令和 5 年度は 24.2%にまで上昇しています。

そのほか、大子町公共施設等総合管理計画（令和 4 年）によると、公共施設の将来更新費用について、今後 40 年間に、毎年 8.6 億円の不足が見込まれています。

### ■一般会計の歳入・歳出の推移



### ■全体予算に占める義務的経費・投資的経費の割合



出典：総務省 市町村決算カード